

# 令和4年度における本協議会の活動報告

---



水防災意識社会  
再構築ビジョン

# 1. 各種協議会の開催概要

## ■ 行政ワーキングの開催

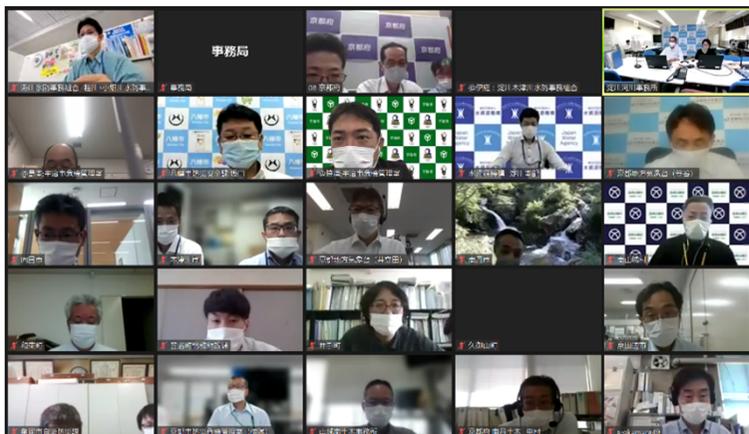
活動報告

- 令和4年度は、行政ワーキンググループ（京都府域、大阪府域）を行いました。
- 令和4年度の重点取組である「要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練の実施」の先進事例について確認しました。
- 令和4年度の支援内容や、出水前のリモート会議の開催について意見交換を行いました。

会議名	開催回数	開催時期
行政ワーキンググループ（京都府域）	1回	令和4年 6月 3日（金）
行政ワーキンググループ（大阪府域）	1回	令和4年 5月30日（月）

### 議論結果

- 重点取組(案)について  
 【京都府域】 訓練はコロナ禍で実施できていないところもあるが、コロナの感染状況を見ながら各施設に依頼していく。  
 【大阪府域】 避難確保計画の問題点について、訓練をすることで問題の洗い出しができる。訓練実施につながるように担当者と相談して今後の対策を検討していきたい。
- 出水前のリモート会議について  
 【京都府域】 積極的かつ効率的なリモート会議の実施方法について 主要関係部局間で調整し、実施内容を検討していきたい。  
 【大阪府域】 リモート会議開催のタイミングが出てきたら、リモート会議の場を設けておくので、今年度はまず試行的に取り組んでいきたい。



京都府域 (6/3)



大阪府域 (5/30)

議論詳細

- 京都府域：要配慮者利用施設への説明を実施し、理解向上を図り、訓練の実施率を引き上げたいと考えている。
- 大阪府域：要配慮者利用施設側にとって訓練のやり方がわからないので、訓練動画等のデータを提供していただきたい。

# 1. 各種協議会の開催概要

## ■ 首長会議の開催

活動報告

- 令和4年度は、首長会議(京都府域、大阪府域 各1回)を開催しました。
- 令和3年度の活動を報告するとともに令和4年度の重点取組である「要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練の実施」の先進事例について確認しました。
- 大規模水害に対する迅速な避難に関する意見交換を行いました。

会議名	出席首長数	開催時期
首長会議(京都府域)	8名	令和4年 7月 1日(金)
首長会議(大阪府域)	3名	令和4年 7月11日(月)



京都府域 (7/1)



松村宇治市長 奥田城陽市長



大阪府域 (7/11)



濱田高槻市長 福岡茨木市長 山田島本町長

### 議論結果

● 議題: 水害時の逃げ遅れゼロの実現に向けた連携

【京都府域】

行政機関の「連携」による避難の呼びかけ、避難の「計画・訓練」と「意識改善」、平時から減災対策の「共有」や「連携」が重要である。

【大阪府域】

「早めの避難」の呼びかけ、避難の「計画・訓練」と「意識改善」、安全な避難のための「連携」や「共有」が重要である。

議論詳細

- **京都府域**: 住民が個別に情報収集できるという点で、アプリを通じて情報の発信も有効。アプリによって一元的な情報の収集が可能となり、広域避難に関する意思決定の円滑化や避難方法の選択肢が増えるなど、逃げ遅れゼロの実現にも活用できる。
- **大阪府域**: 避難場所の確保として、該当施設との協定締結の取組を続けていくことが必要。民間との連携に関する先進事例や取組等を提供いただきたい。

# 1. 各種協議会の開催概要

## ■ブロック別会議の開催

活動報告

- 令和4年度は、ブロック別会議(京都府域:桂川、宇治川、木津川中流、木津川下流、大阪府域:淀川中流、淀川下流、各ブロックで開催)を行いました。
- 令和4年度のソフト対策の実施予定、支援希望内容や国の新たな事業展開について、情報・認識を共有しました。

会議名	開催回数	開催時期
桂川ブロック	1回	令和4年 8月25日(木)
宇治川ブロック	1回	令和4年 8月30日(火)
木津川 中流ブロック	1回	令和4年 8月26日(金)
木津川 下流ブロック	1回	令和4年 8月24日(水)
淀川 中流ブロック	1回	令和4年 8月23日(火)
淀川 下流ブロック	1回	令和4年 8月31日(水)

### 市町からの支援要望

- ・ まるごとまちごとハザードマップの設置支援(京都市、亀岡市、城陽市、八幡市、久御山町、笠置町、高槻市、枚方市)
- ・ 地区タイムライン・マイタイムラインの作成支援(宇治市、長岡京市、大山崎町、高槻市、枚方市、茨木市)
- ・ 小中学生向け出前講座(亀岡市)
- ・ マイ防災マップの作成支援(高槻市、枚方市)
- ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援(京田辺市)
- ・ 勉強会・研修会の実施支援(大山崎町、大阪市)
- ・ 電源を確保できる防災公園等の事例、補助制度の情報提供(吹田市)
- ・ 職員向け風水害防災訓練の支援(茨木市)
- ・ クロスロードゲーム(水害編)の提供(茨木市)
- ・ 避難訓練の実施支援(摂津市、東大阪市)
- ・ 平成25年台風18号時の航空写真等の提供(島本町)

議論詳細

- 要配慮利用施設における避難確保計画の作成は水防法の改正で義務付けしたが、訓練の実施には動画化が有効である。
- 流域タイムライン(河川管理者用)の作成では、Web会議の実施に向けて検討を進める。
- 市区町村タイムラインの活用状況の確認を実施。

# 1. 各種協議会の開催概要

## ■ 鉄道ワーキンググループの開催

実施内容

- 淀川管内水害に強い地域づくり協議会の取組内容、規約の変更案について説明しました。
- 今後の鉄道会社との連携に向けて、自治体からの確認事項、鉄道会社からの確認事項、令和4年度連携事業について意見交換を行いました。

会議名	開催回数	開催時期
鉄道ワーキンググループ(合同)	1回	令和5年 1月24日(火)

### 議論結果

- Lアラートへの参画は、各鉄道事業者共に参画のメリットを強く感じてはいない状況で、参画に消極的な意見が多く出された。
- 計画運休の連絡系統として運輸局から各府県、政令指定都市に情報伝達されるが、府から市町への連絡系統に問題があり、今後、府・市町間の連絡系統を明確にしていく必要がある。
- 避難誘導については、多くの鉄道事業者からは、災害発生時の避難誘導は困難であるが、避難場所等の地図コピーの設置・配布や災害発生時の避難場所等の周知の協力は可能と回答あり。
- 各市町からは、避難場所、防災アプリ、防災訓練等に関するチラシやポスターの設置要望あり。

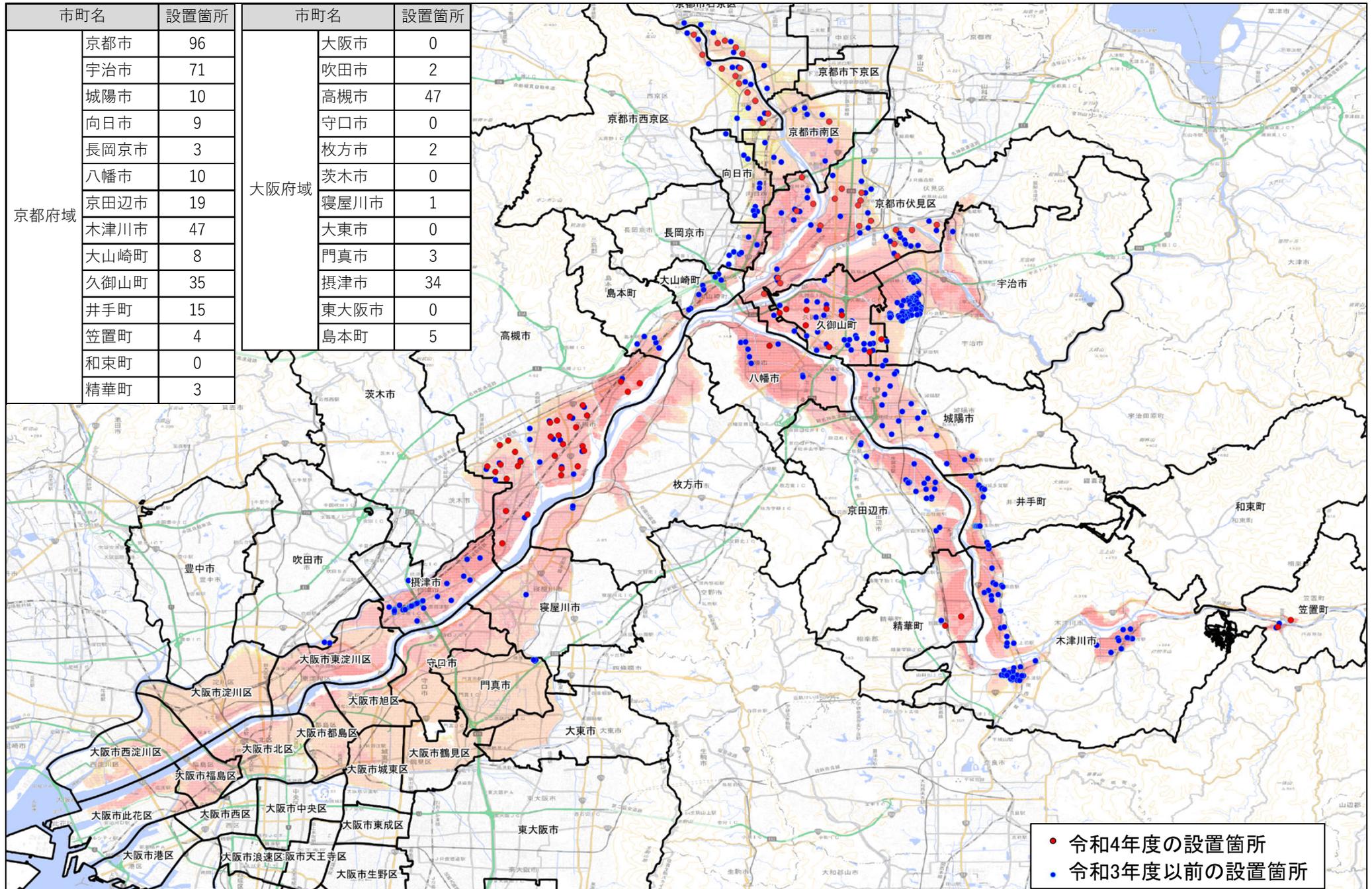


鉄道ワーキンググループ(合同) (1/24)

議論詳細

- 災害発生時における駅周辺の人々の滞留状況についての情報は、市町の一時滞在施設開設の判断につながるため、鉄道事業者からの情報提供の仕組みづくりが必要である。
- 常設掲示は、駅の有人・無人、掲示場所の有無等、状況によって異なるが、基本的に協力していきたい。個別に相談いただきたい。

## 2. まるごとまちごとハザードマップ



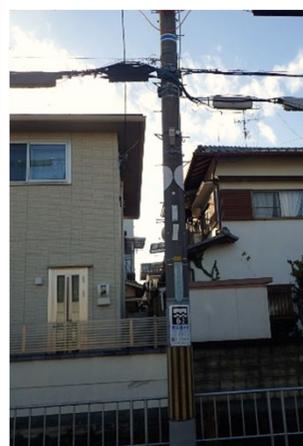
## 2. まるごとまちごとハザードマップ

### 1. まるごとまちごとハザードマップの設置状況

#### ■ 京都府域における設置状況

実施内容

● 住民が集まる集会所、公園や公民館・役場付近の電柱や壁面に看板を設置



五区集会所(八幡市)



下鳥羽公園付近(京都市)



南区公民館(精華町)



笠置町役場(笠置町)



榎池集会所(久御山町)

#### ■ 大阪府域(高槻市)における設置状況

実施内容

● 小中学校の校舎や電柱に看板を設置



冠小学校



西大冠小学校



丸橋小学校



如是小学校

#### ◆ 令和4年度 まるまちHMの設置状況

市町名		設置箇所
大阪府域	高槻市	30
京都府域	京都市	35
	八幡市	1
	久御山町	9
	精華町	2
	笠置町	2
淀川管内	大阪府計	30
	京都府計	49
	合計	79

# 3. まるごとまちごとハザードマップの高度化

## まるごとまちごとハザードマップの高度化

実施内容

- これまでのまるごとまちごとハザードマップ（まるまちHM）に比べてさらに分かりやすく、実際の浸水深が一目でわかるように工夫することで、設置後も浸水リスクをより多くの住民に理解してもらうことができます。
- 二次元バーコードにより自治体の防災情報サイトに接続が可能となります。
- 二次元バーコードを活用した避難訓練や防災マップの作成にも活用できます。

### ■ 京都市における設置

#### ● 電柱に青色シートでラッピングして設置



二次元バーコードによる防災情報の取得



### ■ 摂津市における設置

#### ● 交通量の多い府道に架かる歩道橋に設置（青色塗装）



# 4. 淀川河川事務所における取組

## 防災学習動画のホームページ更新

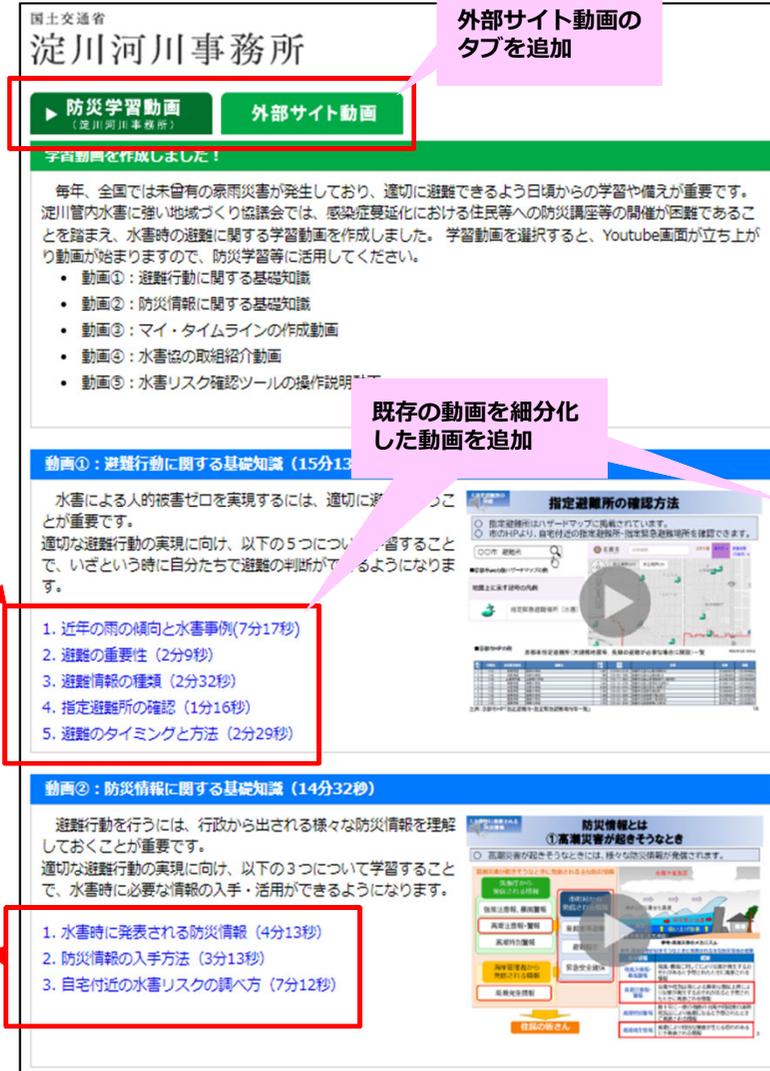
実施内容

● 研修会や勉強会の代替ツールとして、淀川河川事務所ホームページに避難行動や防災情報の基礎知識、ソフト対策の取組事例に関するオンライン学習動画を掲載しています。  
動画の細分化・外部サイト動画を追加し、より活用しやすいホームページに更新しました。

### 更新前のホームページ

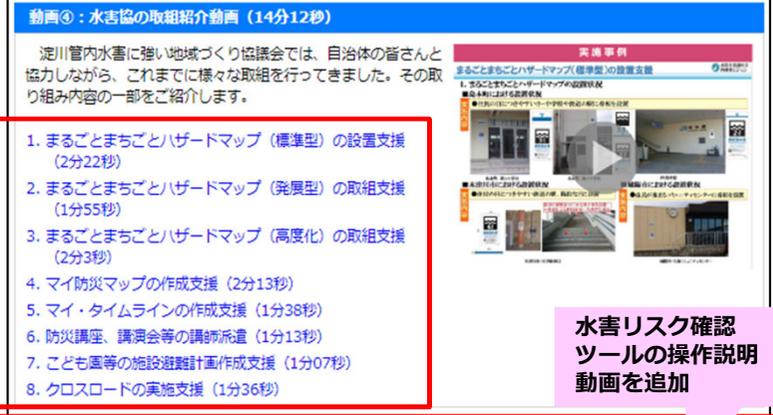
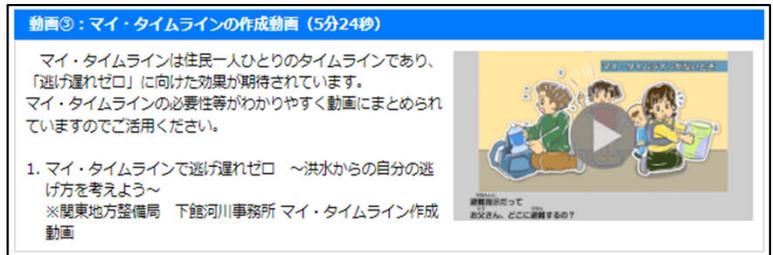


### 更新後のホームページ

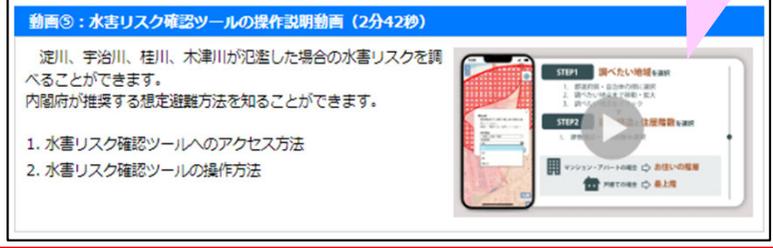


外部サイト動画のタブを追加

既存の動画を細分化した動画を追加



水害リスク確認ツールの操作説明動画を追加



更新・追加した箇所

# 令和4年度における 市町等の取組状況

---



水防災意識社会  
再構築ビジョン

# 目次

宇治市（防災訓練の実施、防災シンポジウムの開催、継続した取組）	11
亀岡市（亀岡市防災士養成事業の実施、亀岡市こども防災士養成事業の実施）	12
城陽市（4校区合同防災訓練を実施 木津川が避難判断水位に達した想定の実践的訓練）	14
長岡京市（マイ・タイムラインの作成キット及び解説動画を作成、水害等避難行動タイムラインの作成支援）	15
八幡市（水害等避難行動タイムラインの作成、まるごとまちごとハザードマップの設置）	16
京田辺市（出前講座による防災意識の啓発・向上）	18
南丹市（各種防災研修の実施及び防災士の養成、災害対応用重機等の導入及び重機操作研修の実施について）	19
木津川市（水害等避難行動タイムライン及び災害・避難カードの作成）	21
大山崎町（水害等避難行動タイムラインの作成）	22
久御山町（令和4年度自主防災リーダー研修会）	23
笠置町（まるごとまちごとハザードマップの設置）	24
精華町（まるごとまちごとハザードマップ 浸水想定地域に表示、マイ防災マップの作成）	25

# 宇治市の取組状況について

## ①防災訓練の実施

宇治市が主催する大規模な防災訓練を3年ぶりに実施

- ・ 避難所開設訓練
- ・ 災害時地域タイムラインの周知
- ・ 災害協定団体との連携確認



## ②防災シンポジウムの開催

京都府南部豪雨災害から10年を契機にこれまでの取組とこれからの認識を共有

- ・ 今後の気候変動
- ・ 宇治市の取組(治水対策、タイムライン普及)
- ・ 地域の取組(市内の先進地域の発表)



## ③継続した取組

- ・ 防災学習の取組
- ・ 防災出前講座の開催
- ・ 自主防災組織への支援(自主防災組織育成事業補助金・防災訓練等の実施にかかる費用の一部補助)

## ■ 亀岡市防災士養成事業の実施

活動報告

- 亀岡市では、地域住民の先頭に立つ防災スキルを持った市民防災リーダーを養成するため、京都府内の自治体として初めて日本防災士機構から研修実施機関としての認証を取得し、市独自で防災士資格取得者を増加させる「亀岡市防災士養成事業」を実施しました。
- 事業を実施した結果、市内在住・在勤の防災士数について、事業実施前(令和4年5月末時点)の68名から事業実施後(令和5年3月末時点)の124名に増加させることができました。

### 亀岡市防災士養成事業

実施日	令和4年10月8日(土)・9日(日)
場所	亀岡市役所 市民ホール
参加者	・52名(うち南丹市推薦枠6名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自の防災士養成プログラムを実施(講義+演習 計12講目)</li> <li>・普通救命講習の実施(11月3日(木)~11月9日(水)の間の5日間で、5班に分けて実施)</li> </ul>



# 亀岡市の取組状況について(2/2)

## ■ 亀岡市こども防災士養成事業の実施

活動報告

- 亀岡市では、児童や生徒など、次代の地域防災を担う若年層の防災意識の向上を目指すことを目的として、「亀岡市こども防災士養成事業」を実施しました。
- 事業を実施した結果、従来は防災訓練や防災研修などに参加する機会の少なかった児童・生徒などの若年層や、子育て世代である保護者について、防災イベントに参加してもらうことができました。

### こども防災士養成事業

実施日 及び場所	令和4年11月26日(土) 亀岡市交流会館
参加者	市内小学4年生～6年生の児童と保護者9組22名
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災資機材取扱体験(日本防災士会京都府支部)</li> <li>・防災食糧試食体験</li> <li>・体験型オンライン防災授業(NHK京都放送局)</li> </ul>



いつ起こるか分からない水害・地震などに備え、今日からできる防災対策をたのしく学びます。

日時：令和4年11月26日(土) 午前10時～午後3時

場所：亀岡市交流会館(亀岡市宮前町神前長野15)

対象：小学4年生以上

定員：20名(先着順)

参加費：無料

主催：亀岡市

協力：日本防災士会 京都府支部

NHK京都放送局



## ■ 4校区合同防災訓練を実施 木津川が避難判断水位に達した想定の実践的訓練

活動報告

- 市内4小学校区の各自主防災組織と市、各関係団体の合同で、大雨により木津川が避難判断水位に達した場合の想定による防災訓練を実施しました。
- 木津川の洪水時の浸水想定区域にあたる、市の西側の古川・久津川校区の避難が必要な人は、市の東側の高台にある指定避難所へ避難する訓練を行いました。久津川校区の避難が必要でない区域や久世・深谷校区では指定避難所の開設や運営を応援し、西側からの避難者を受け入れる訓練を行いました。



### 【当日の流れ】

- ⌚ 8:00 災害対策本部を開設
- ⌚ 9:00 指定避難所の開設指示  
→各校区で避難所を開設



- ⌚ 10:00 頃 「警戒レベル3 高齢者等避難」発令  
→避難に時間を要する人の避難開始
- ⌚ 11:00 頃 「警戒レベル4 避難指示」発令  
→避難の必要な全ての人の避難開始

- 🏠 避難所では順次、段ボールベッドやテントの設営体験
- 🚚 災害時の協定を締結する事業者による実演も



段ボールベッドの作成



ガス発電機の実演



PHEV車の展示

- ⌚ 12:00 頃 市長講評

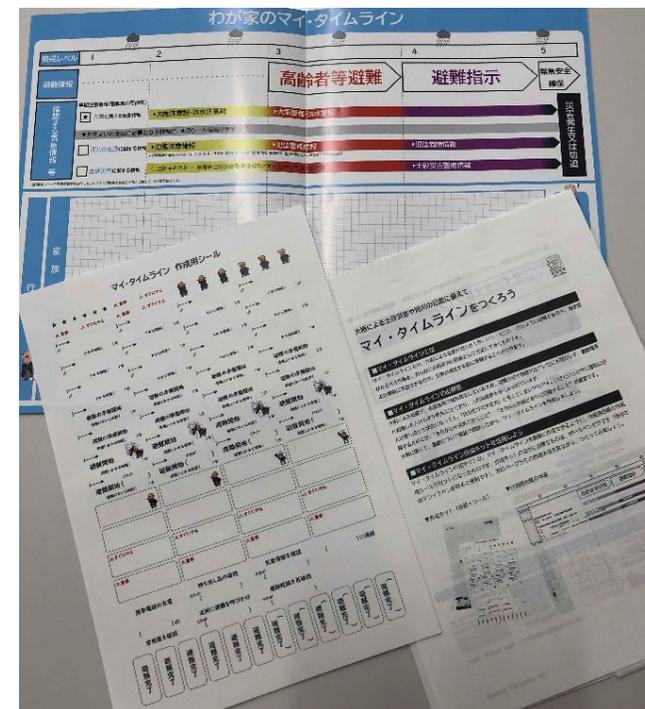


# 長岡京市の取組状況について

## ■マイ・タイムラインの作成キット及び解説動画を作成

活動報告

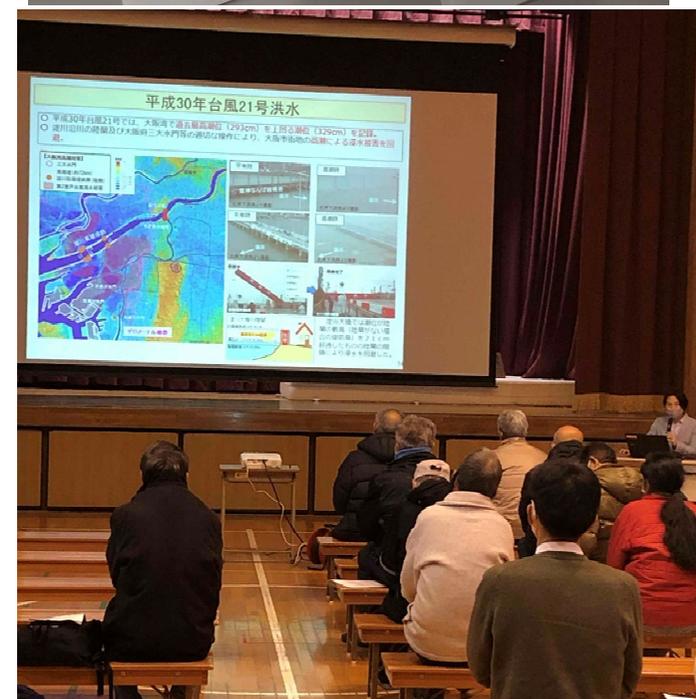
- 「マイ・タイムライン」作成を支援するためのツールを令和3年度に作成
- 令和4年度はより多くの人々の目に触れること、水害等のリスクの高くないエリアの人にも作ってもらうことを目的にホームページへ作成様式を掲載
- 作成方法などがイメージしやすいように動画を作成



## ■水害等避難行動タイムラインの作成支援

活動報告

- 「水害等避難行動タイムライン」作成支援対象地域(水害・土砂災害のリスクの高い地域)に対して、出前ミーティング等で作成の意義や作成体験など実施しました。
- そのうちの一つは小学校区単位での取組により、市、淀川河川事務所、京都府が派遣された防災士による講演を行いました。今後各自治会単位でのタイムライン作成を促進していきます。  
(これまで21地域の内、4地域で作成済み)



# 八幡市の取組状況について(1/2)

## ■水害等避難行動タイムラインの作成

- 「水害等避難行動タイムライン」・・・京都府が府内の水害及び土砂災害の危険性がある地域の自主防災組織等に作成を推進しているタイムライン



活動報告

- 出前講座等により、自治会ごとに「水害等避難行動タイムライン」作成における説明会及びワークショップを実施しました。
- 令和4年度は、市内4地域において、計8回の説明会及びワークショップを実施し、5つの自治会でタイムラインを作成しました。  
(これまでに計4つの自治会で作成済)

時期	場所	内容
<b>【浸水】</b> 6月25日、7月16日、 8月6日、9月7日、 10月15日 <b>【土砂】</b> 10月8日、11月12日	長町南集会所 二区公会堂 戸津集会所  四区公会堂	木津川氾濫時に浸水の可能性がある地域及び土砂災害警戒区域等がある地域において、自治会の水害時における避難行動タイムライン作成のための説明会及びワークショップを実施

活動の効果

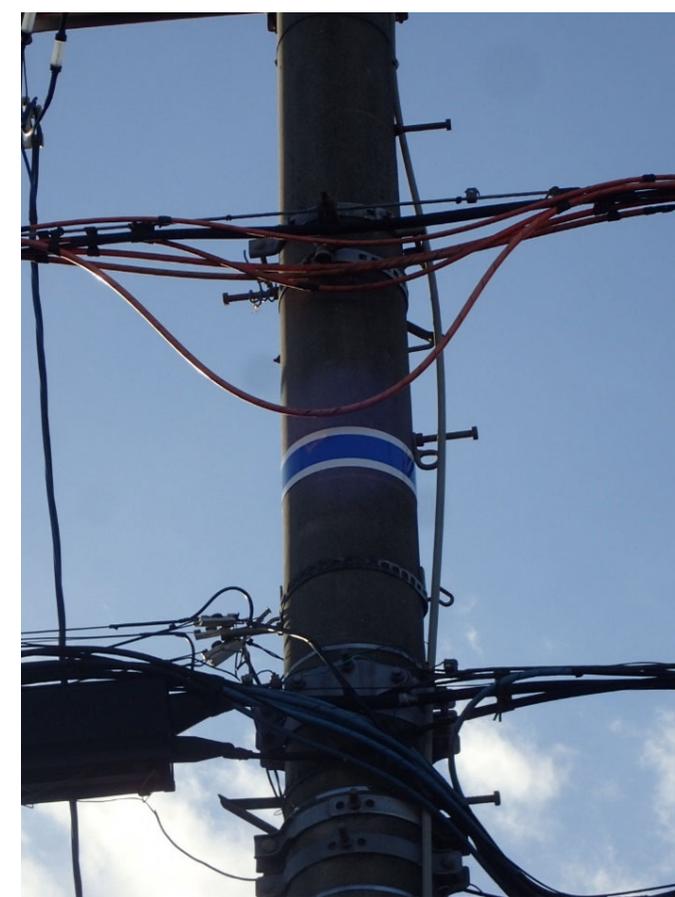
- 地域住民が水害について考えることによる避難行動への意識付け及び逃げ遅れへの対策
- 市内の浸水及び土砂災害の可能性のある他地域への波及
- 自治会等でのタイムライン作成により、個人のタイムライン「マイタイムライン」の作成推進につなげる

# 八幡市の取組状況について(2/2)

## ■まるごとまちごとハザードマップの設置

活動報告

- 関西電力送配電(株)のご協力のもと、市内の電柱1箇所にて新規設置しました。(これまでに計9箇所にて設置)
- 新規設置箇所には、八幡市ハザードマップ掲載ホームページのQRコードを記載をしました。



活動の効果

- 平時から住民等の水害への意識を高めるとともに想定浸水深を通じて、地域の水害リスクを周知し、発災時の避難行動を促す

# 京田辺市の取組状況について

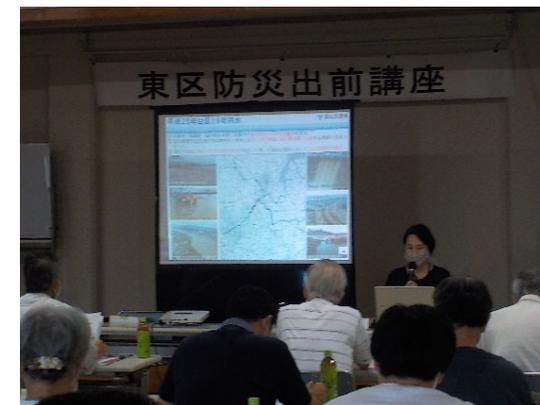
## ■ 出前講座による防災意識の啓発・向上

活動報告

- 市職員等が講師となり、ハザードマップの説明等の防災に関する講義を行った。
- 令和4年度は、市内5地域・団体に対して、計6回の講座を実施した。
- そのうち1回は淀川河川事務所も参加し、合同での講座を実施した。

### ○ 令和4年度の出前講座

月日	受講団体	参加人数	備考
5月19日	まちづくり市民ねっと京田辺事務局	14	
6月26日	サンメゾン京田辺駅前ユニハイム管理組合	31	
8月27日	東区	32	淀川河川事務所と合同
2月8日、9日	三山木小学校 PTA	26	
2月13日	女性交流支援ルーム主催交流会	18	



## ■ 各種防災研修の実施及び防災士の養成

活動報告

- 南丹市では、地域、学校や外国人を対象として各種の防災研修、出前講座を実施し、水害の脅威を始め防災対策の啓発、コロナ禍での避難所の運営方法、外国人に対しての防災対策及び避難方法等の啓発を実施しました。
- 亀岡市が主体に実施された防災士養成講座に共催として参画し、南丹市における防災士の養成を行い、地域の防災力の向上にむけた取組を行いました。

期日	場所	内容
9月4日 9月25日 10月8日、9日 10月26日	北部コミュニティセンター 南丹市国際交流センター 亀岡市役所 殿田小学校	地域の防災避難訓練の一環として避難所の運営研修を実施 市内在住外国人に対して避難方法等の防災研修を実施 亀岡市と共催で防災士の養成講座を実施(資格取得者 6名) 小学校、地域、学校運営協議会主催の防災イベントに参加



# 南丹市の取組状況について(2/2)

## ■ 災害対応用重機等の導入及び重機操作研修の実施について

活動報告

- 南丹市では水害等の災害対応用として、水難救助艇及び重機を導入した。併せて消防団員及び市職員が災害時に迅速に重機作業ができるように重機の操作研修を実施し、災害時に迅速な対応ができるよう体制を整備した。

導入配備品	重機操作研修内容等
水難救助艇 1艇 パワーショベル 1台	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワーショベル操作資格取得者 消防団員 9名 市職員 12名</li> <li>● 研修内容 小型車両系建設機械(整地等)特別教育 重機操作実践研修、重機操作特別実践研修</li> </ul>

重機操作実践研修の様子



水難救助艇



パワーショベル

# 木津川市の取組状況について

## ■水害等避難行動タイムライン及び災害・避難カードの作成

### ●「水害等避難行動タイムライン」

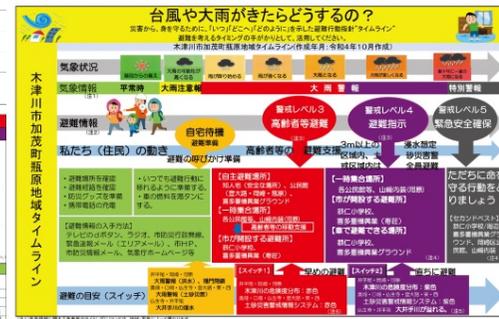
水害及び土砂災害の危険性がある地域の自主防災組織等が作成

活動報告

- 出前講座方式により、各自主防災組織ごとに「水害等避難行動タイムライン」及び「災害・避難カード」の作成を支援し、説明会及びワークショップ等を実施
- 令和4年度は、市内7地域において、計21回の説明会、ワークショップを実施し、タイムライン及び災害・避難カードを作成



タイムライン、災害・避難カードの作成例



第1回WS説明会（木津地域自主防災会）

第2回WSグループ討議（瓶原地域自主防災会）

活動の効果

- 地域住民が水害・土砂災害リスクを考え、避難行動への意識付けと逃げ遅れ対策
- 市内の水害・土砂災害のリスクのある他地域への波及（R5年度で終了を目標）
- 自主防災組織の対応をもとに、各自治会等での災害時の対応について検討を深めるとともに、我が家の「災害・避難カード」の作成に寄与

## ■水害等避難行動タイムラインの作成

●「水害等避難行動タイムライン」・・・京都府が府内の水害及び土砂災害の危険性がある地域の自主防災組織等に作成を推進しているタイムライン

ワークショップ



活動報告

●京都府の「水害等避難行動タイムライン作成支援人材育成・派遣」事業を活用し、「水害等避難行動タイムライン」説明会及びワークショップを実施しました(1回実施)。

●対象は町内の水害リスクのある地域の自主防災組織の長で、3組織がワークショップでタイムラインを作成しました。

時期	場所	内容
令和4年11月30日	大山崎町立中央公民館	町内の自主防災組織の長を対象に派遣防災士による避難行動タイムライン作成のための説明会及びワークショップを実施

活動の効果

- 地域住民が水害について考えることによる避難行動への意識付け及び逃げ遅れへの対策
- 町内の浸水の可能性のある他地域への波及
- 自主防災組織等でのタイムライン作成により、個人のタイムライン「マイタイムライン」の作成推進につなげる

# 久御山町の取組状況について

## 令和4年度自主防災リーダー研修会

活動報告

●町内自治会等役員、自主防災組織会長を対象に、自主防災組織の活動体制の整備を図り、地域ぐるみの防災活動を効果的に展開できるよう、各地域からの参加者を通じて、自主防災組織の充実、強化を図ることを目的に開催。

時期	場所	内容
令和4年6月25日	久御山町役場	淀川管内水害に強い地域づくり協議会の配布している「避難行動計画 マイ・タイムライン」の様式および資料を使用し、タイムラインの作成研修を実施しました。あわせて、各自治会、自主防災組織が活用できる久御山町の補助金制度を説明しました。



# 笠置町の取組状況について

## ■まるごとまちごとハザードマップの設置

活動報告

- 笠置町ではこれまで、2箇所にもまるまちハザードマップの設置をしてきましたが、令和4年度において新たに2箇所の施設においてまるまちハザードマップの設置を実施しました。
- まるまちハザードマップの設置にあたり、最大想定浸水深のみの表示ではなく、下部に町が公開している防災マップにアクセスできるQRコードを掲載することで、利用者がまるまちハザードマップに素早くアクセスできるよう利便性にも配慮しました。



笠置町役場



## ■まるごとまちごとハザードマップ 浸水想定地域に表示

活動報告

- 木津川浸水想定地域の行政区ごとに、浸水ハザードマップの更なる普及浸透、危機意識の醸成、避難所等の認知度等の向上のため、「マイ防災マップ」を作成するとともに「まるごとまちごとハザードマップ」の標識板設置を実施しました。
- 令和4年度から浸水想定地域のなかでも、災害リスクの多い地域から順に実施し、今後13地区において設置を目指します。





## ■マイ防災マップの作成

●「マイ防災マップ作成事業」・・・防災体制の強化を図ることを目的とし、その地域の特性を活かしたマップを作成する。  
対象については、浸水想定地域を中心に事業を進める

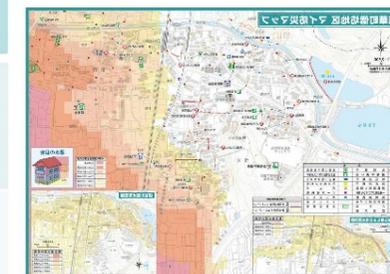


活動報告

- 令和2年度から取り組んでおり、令和4年度末で8箇所の地区においてマイ防災マップを作成し、対象住民に周知することができた
- 令和4年度は、町内3地区を対象に、それぞれ計3回ずつマップ作成の説明会及びワークショップ、まち歩きを実施したもの



月日	内容
12月	マイ防災マップ作成に伴う事業の説明(3地区計20名参加)
令和5年1月	ワークショップ、災害危険箇所の確認(まち歩き)を実施(3地区計40名参加)
3月	対象地区の全世帯の各戸配付



- 地域住民が水害について考えることによる避難行動への意識付け及び逃げ遅れへの対策
- まるごとまちごとハザードマップ事業と連携させて、より浸水に対する日頃からの意識付けや危機意識の醸成を高めることができた